

TOYO ELECTRIC CORPORATION



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード: 6655

第77期 上半期報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

目次

トップインタビュー

創業70周年。
東洋電機グループは
さらに挑み続けます。 p1

TOYOのものづくり

マジック ビー p4

セグメント別概況 p5 連結決算概要 p7

社員インタビュー p9 トピックス p9

会社概要/株式状況 p10

70th ANNIVERSARY

東洋電機株式会社 創業70周年

創業70周年。東洋

Q

中国をはじめとする新興国経済の減速が心配です。この半年の業績はいかがでしたか。

A

当上半期は、売上は当初予想に比べ、主力製品であるエレベータセンサ・変圧器の動きが鈍く、当初予想を若干下回る見込みです。利益につきましては、黒字を確保したものの予想を下回る見込みです。中国経済の減速は、今後徐々に影響がでるかもしれません。配電盤とエレベータセンサなどを手掛ける中国子会社では中国メーカーとの消耗戦にならないよう品揃えの工夫を始めています。

Q

主なセグメントの取り組みはいかがでしたか。

A

国内制御装置関連事業は、当上半期のけん引役となったエンジニアリング部門では、通信販売などで活況を呈する物流大手のターミナル向けに荷物の仕分けをする搬送制御装置、多品種・小ロットの商業印刷に対応するデジタル印刷機向け制御装置が順調に推移しました。マジックビーは、大手メーカーの温度管理システムに組み込まれました。

機器部門では、エレベータセンサがやや落ちたものの、自動車の海外工場向け無人搬送台車用光伝送装置が増えました。また東京オリンピック関連でエスカレータのリニューアル工事が増え、安全表示器などの需要が生れています。マジックビーを使った無線監視は、穀物サイロの温度管理用に採用されました。変圧器部門は受配電用乾式変圧器が苦戦しました。新たに医療用機器に組み込まれる変圧器が伸びています。

海外制御装置関連事業は、中国においては日系企業向けが高止まりしているものの、現地企業向けが経済減速

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。東洋電機は先頃創業70周年を迎えました。いま一度創業時に立ち返って、私たちにしかできないことに挑戦を続けたいと考えています。それには創業の精神、意気込みを呼び覚ます覚悟が必要です。新たな目標を掲げ、従業員とともに歩んでまいりたい決意です。皆様の変らぬご支援を心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

松尾 昇光

電機グループはさらに挑み続けます。

の影響を受けています。エレベータセンサは沿岸部の高層ビル案件がほぼ一巡し、今後は安全性をより重視するリニューアル用途の開拓が急がれます。

タイ子会社は、本年11月に本格的な量産体制に入ります。3~4年で中国子会社に匹敵する生産規模を実現できるものと見込んでいます。

Q エレベータセンサ、空間光伝装置、表示器などに続く、第4・第5の柱の育成は順調ですか。

A マジックビーはエンジニアリング部門と機器部門で販売を競う形にしています。エンジニアリング部門ではビル・工場などの自動化の一翼を担う環境モニタリングシステムとして、機器部門では電気がない場所でも温湿度の監視ができる機器として売り込みを続けています。今後は業務用冷蔵庫の温度管理、重油・ガスのセンサと組み合わせた流量や臭気監視にも拡販を行います。

水中から音声・画像・データを送る水中可視光通信装置も活用が期待されています。

新しい試みとして電磁波の一種であるミリ波レーダ、高周波技術の開発にも着手しています。

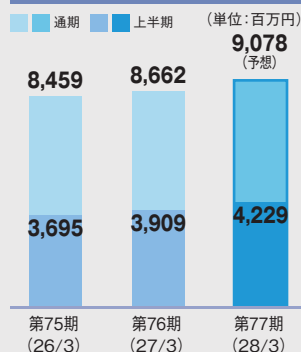
Q 海外市場開拓部と国内市場開拓部のその後の動きについてもお聞かせください。

A 海外市場開拓部は、この4月から海外事業本部と改め、中国とタイ子会社の営業支援も役割としました。子会社で生産した製品の拡販に加え、東洋電機本体の製品を海外に販売します。海外では東洋電機ブランド製品の販売に手が回っていません。今後は現地の市場にふさわしい製品の販売を模索し、攻めることで新しい市場を創ろうとしています。

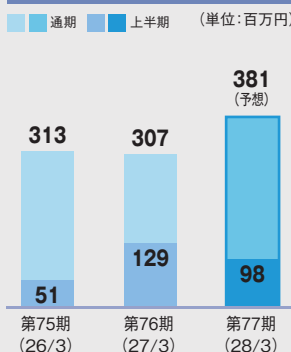
国内市場開拓部は、マジックビーの拡販などで成果につながっています。また、シニア層の営業・技術の経験を生かすためシニア2名を経営企画本部長付とし、新たな市場に向けた営業開拓に当たらせています。私どもは工場の自動化関連に強みを持っていますが、実はその周辺にも新たな需要があると気づきました。国内では各事業部の営業

決算ハイライト

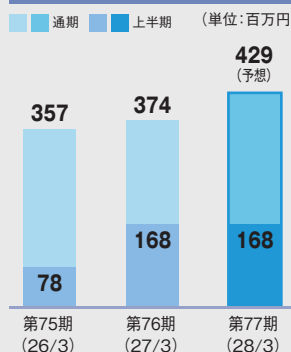
売上高



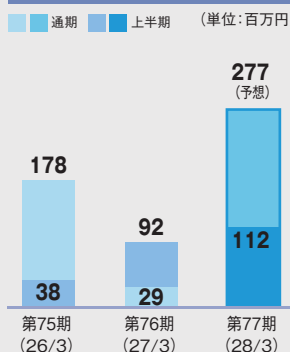
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する純利益



と併せてまさに“3本の矢”でお客様に向かい、成果につなげてまいります。

Q

コーポレートガバナンス（企業統治）が社会の関心を集めています。今後の企業運営について社長の抱負をお聞かせください。

A

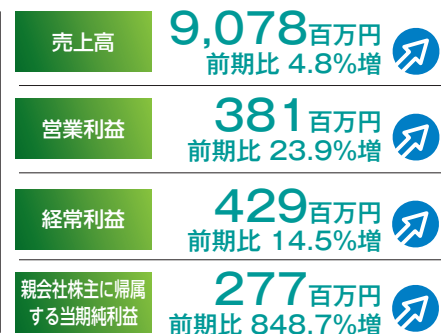
6月に開催された株主総会において、当社は監査等委員会設置会社に移行しました。取締役となる監査等委員に議決権を付与することで、取締役会の監督機能を強化し、企業運営の透明性を担保する仕組みです。

ますます取締役会の役割の大切さが再認識されています。取締役となった監査役には、株主様に代わって当社の業務の妥当性に踏み込んだ適切なアドバイスをお願いしたいと考えています。

先頃、当社は創業70周年の記念行事を行いました。また、8月には地域の皆様を新しくなった本社・春日井工場にお迎えし、地域住民と社員が久方ぶりの親睦と交流を行いました。東洋電機はこれからも地域の一員として社会に目を向け、企業として社会的責任を果たしてまいります。

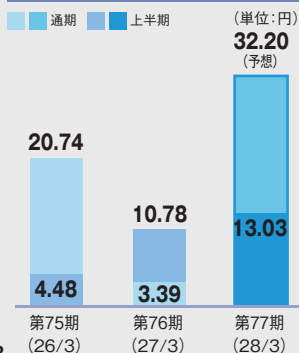


通期の見通し

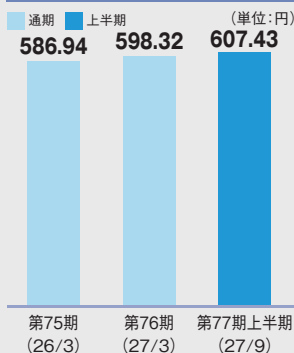


決算ハイライト

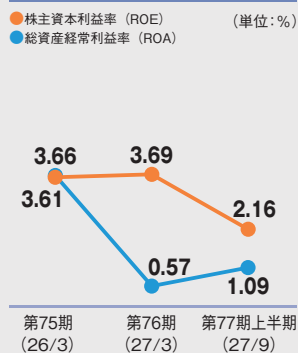
1株当たり純利益



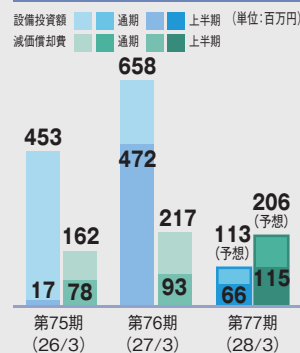
1株当たり純資産額(BPS)



株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)



設備投資額/減価償却費



無線を身近に。電池駆動で省配線化。

エンドデバイスタイプ

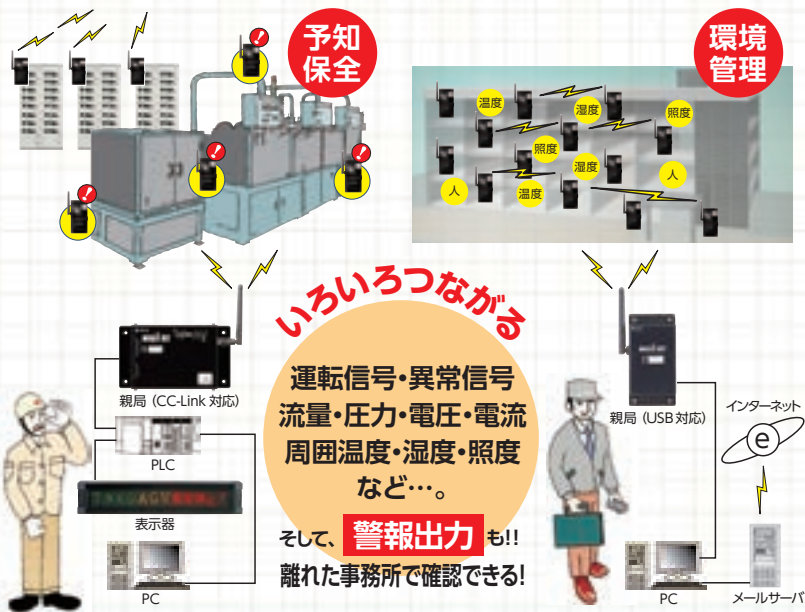
マジックビーは、子局に接続されたセンサ情報を電波無線で収集する装置です。

収集した情報をパソコンで表示したり、PLCで管理したりすることが簡単にできます。



生産設備の監視で「予知保全」、
「環境管理」の用途で使用できます。

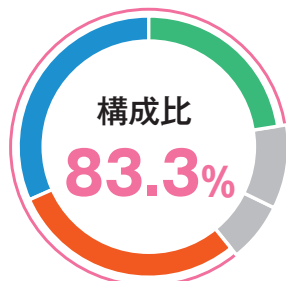
マジックビーには、各種センサが
接続できる為、「運転信号」「異常信号」「流量」「圧力」「電圧」「電流」「周囲温度」「湿度」「照度」などを、離れた場所で監視できます。



I. 国内制御装置関連事業

売上高 **3,520** 百万円
前年同期比 **6.1%** 増

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は3部門から構成されており、その変圧器部門の売上高は減少したものの、エンジニアリング部門の売上高が伸長したことにより、売上高は3,520百万円(前年同期比6.1%増)となりました。



内 訳



エンジニアリング事業部



機器事業部

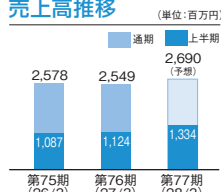


変圧器事業部

エンジニアリング事業部 売上高 **1,334** 百万円 前年同期比 **18.7%** 増

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御分野、印刷制御分野ならびに配電盤分野が増加したことなどにより、売上高は1,334百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

売上高推移



鉄道関連製品「無人駅高声電話機」

主な主要製品

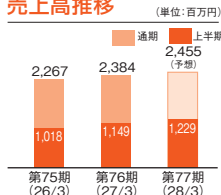
- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー(1PR)
- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 宛名紙印刷搭載機

機器事業部

売上高 **1,229** 百万円 前年同期比 **7.0%** 増

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、センサ分野、空間光伝送装置分野ならびに表示器分野(電力調整器)が増加したことなどにより、売上高は1,229百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

売上高推移



空間光伝送装置

主な主要製品

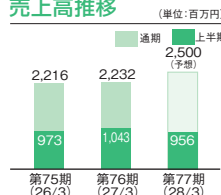
- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器
- 交流電力調整器
- 情報表示器

変圧器事業部

売上高 **956** 百万円 前年同期比 **8.4%** 減

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、受配電盤関連の需要が昨年度末の駆け込み需要の反動を受け減少したことなどにより、売上高は956百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

売上高推移



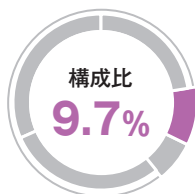
乾式変圧器 TKHⅢシリーズ

主な主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル

Ⅱ. 海外制御装置関連事業

売上高 **411** 百万円
前年同期比 40.6%増

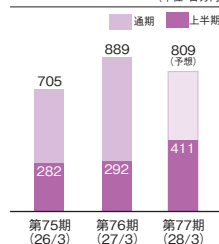


海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。またタイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの検査販売を行っております。

当事業は、アジア市場を中心とした海外エレベータセンサ需要の増加や、為替影響などにより、売上高は411百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

なお、当事業と国内制御装置関連事業における機器部門とは、日本向けエレベータセンサなどの製品群において進料加工生産を行っております。

売上高推移 (単位:百万円)



主な主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
高圧受配電盤
コントロールセンタ
PLC応用制御盤



C型コントロールセンタ

- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と
Thai Toyo Electric Co., Ltd.)

マルチビームセンサ
かご位置確認用センサ



エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

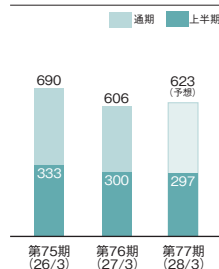
Ⅲ. 樹脂関連事業

売上高 **297** 百万円
前年同期比 1.0%減



樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂(株)が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、自社製品の需要が増加した一方、自動車関連部品材料の需要が減少したことなどにより、売上高は297百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



主な主要製品

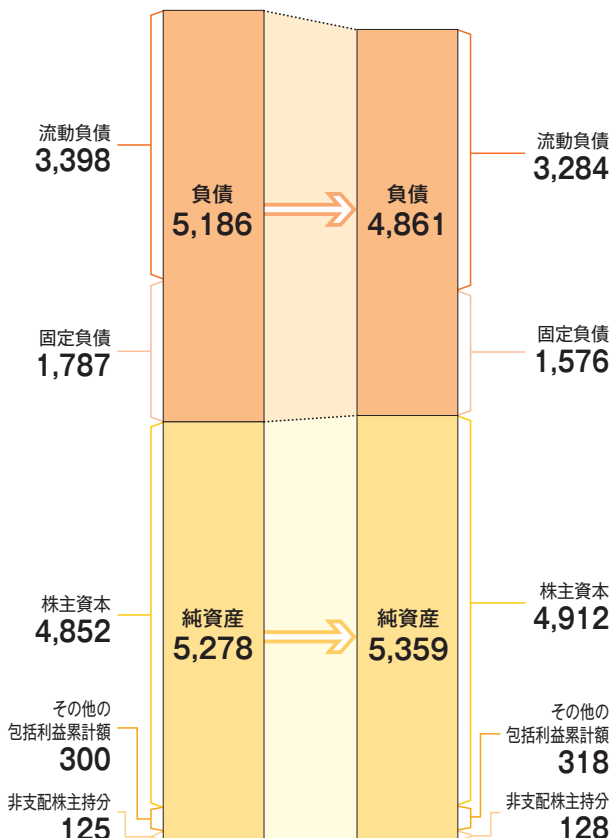
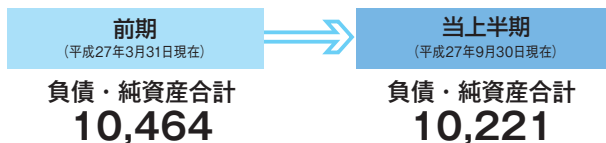
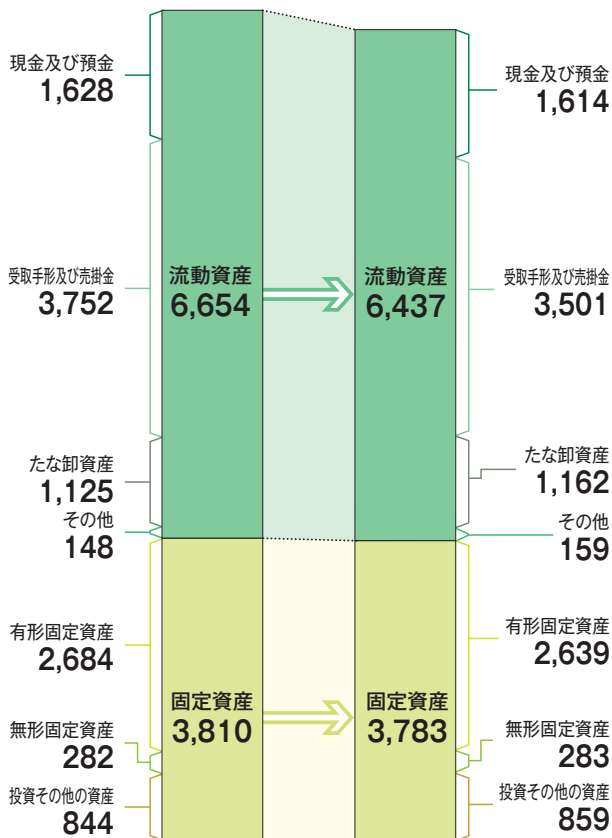
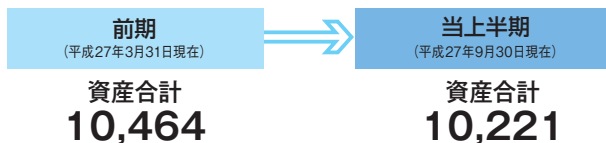
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



樹脂ペレット

連結決算概要

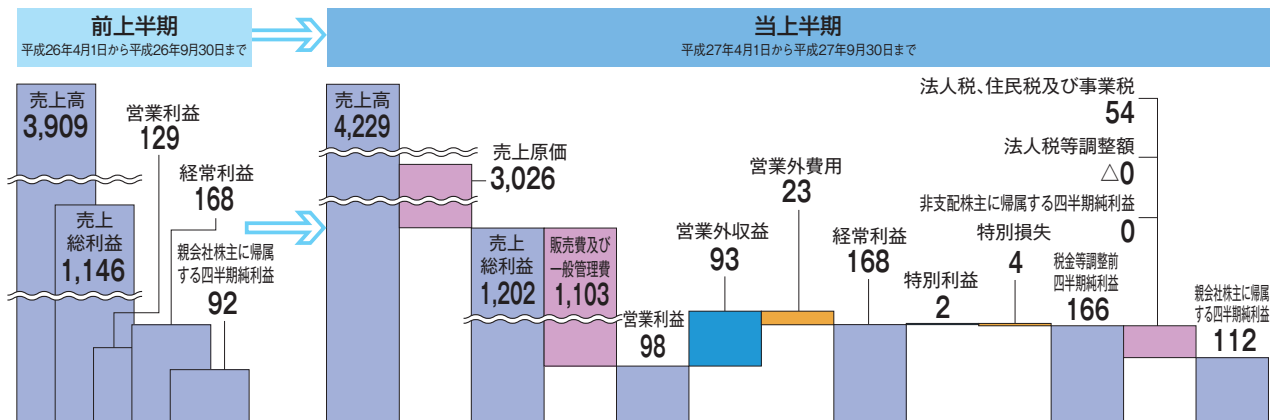
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



POINT

総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより前期末比243百万円減少し、負債は、支払手形及び買掛金などの流動負債および長期借入金などの固定負債が減少したことにより前期末比324百万円の減少となりました。なお、純資産は、為替換算調整勘定および利益剰余金の増加などにより80百万円増加しました。

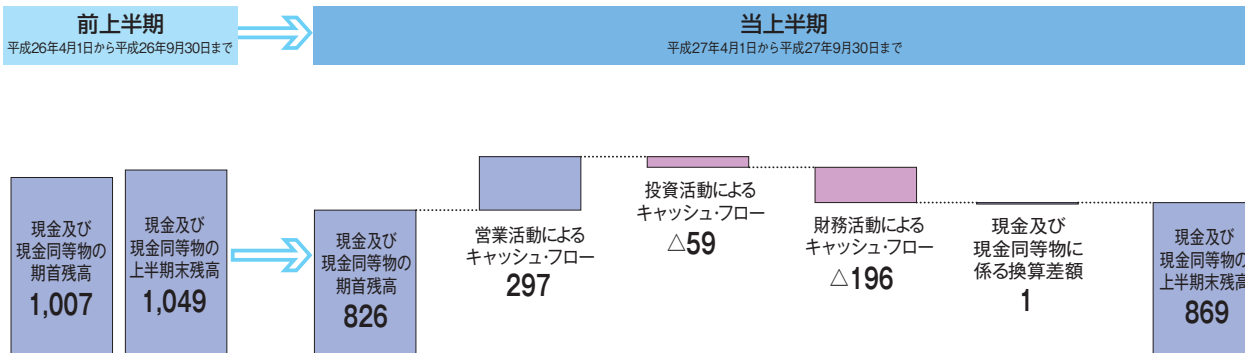
連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期の売上高は、国内成長市場への新規・深耕開拓、環境モニタリングシステムなどの新規事業分野への展開、在外子会社との業務連携による海外市場での拡販、また、市場開拓部門による新技術開発など、事業基盤の強化と拡大に取り組んだ結果、売上高は8.2%増収となりました。利益面では、固定資産除却損(特別損失)が減少したことなどにより増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等合計54百万円を計上したことなどにより、増益となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ42百万円増加し869百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少などにより297百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、定期預金の減少、有形固定資産の取得による支出などにより59百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額などにより196百万円となりました。

自分がやると胸を張れる仕事を

エンジニアリング事業部技術部二課係長 舟橋 充

もっと幅の広い仕事がしたいと、9年前に中途入社しました。成果が見えるいまの仕事に満足しています。

現在は、特注品のシステム設計に関わっています。最近手掛けたものに商業用デジタル印刷機の制御システムがあります。デジタル印刷機は、印刷データをCMYK（Cは青色、Mは赤色、Yは黄色、Kは黒）からなる4色のインク噴射装置に送りだし、微妙な組み合わせの色を紙に転写して文字や画像を再現します。あて名を印字してただちに発送するダイレクトメールの需要も増えてきました。つまりデジタル印刷機ではデータを正しく送りだし、データごよりの文字や画像の再現性が求められているのです。

この仕事には、お客様との折衝が欠かせません。細やかな現場の要望に沿って新たな機能が盛り込まれることも少なくないからです。

ある時ドイツの企業と一緒に仕事をする機会がありました。“みんなで頑張る”というスタンスの普通の日本企業と違って、ドイツでは個人主義が徹底しており、“だれがやっ



た仕事か”という評価なのです。上手くいけばよくやったと評価され、失敗すればお前に責任があるとあります。結果の重さを痛感する毎日でした。

今後はもう少し英語の勉強もしなければと考えています。当社は中国やタイにも工場があり、海外の仕事の比重も増えています。自分なりに役割が果たせればと考えています。

若い頃はアウトドアが好きで、車にテントを積んで旅をすることもありました。3人の子どもの父親になったいまは出かける機会もぐっと少なくなっています。子どもたちも大きくなり、そろそろ家族でアウトドアの計画を立てようと思っています。

トピックス

第77期 上半期のトピックスをご紹介します。

創業70周年記念式典を行いました

5月8日にホテルプラザ勝川にて、創業70周年記念式典を行いました。記念式典後、立食形式による祝賀パーティーを行いました。



サマーフェスティバルを開催しました

8月7日にサマーフェスティバルを開催しました。本社・春日井工場内に地域住民の皆様をお招きし、飲食をともにしながら交流を深めました。またお子様にはゲームを行いました。



▶ 会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社 (愛知県小牧市) 東洋電機ファシリティーサービス株式会社 (愛知県春日井市) 東洋板金製造株式会社 (愛知県春日井市) 南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市) Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	224名(連結525名)

▶ 役員

代表取締役会長	松尾隆徳
代表取締役社長	松尾昇光
常務取締役	松村和成
取締役	丹羽基泰 経営企画本部長
取締役	加藤信 管理本部長
取締役	清水純一 海外事業本部長
取締役	加藤茂男 エンジニアリング事業部長
取締役	堀睦英 機器事業部長
取締役	奥村光宏 海外事業本部海外営業部長
取締役(監査等委員)	森正一
取締役(監査等委員)	有賀重介
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩

(注)取締役有賀重介および葛谷昌浩の各氏は、社外取締役であります。

▶ 株式の状況

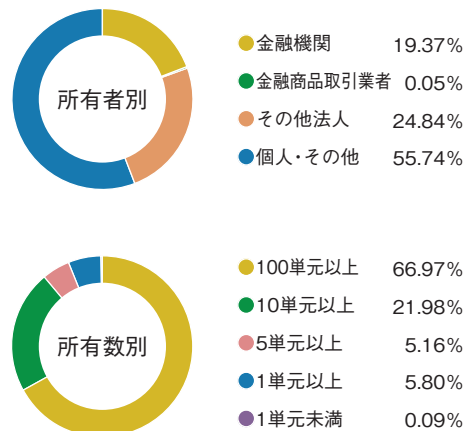
発行可能株式総数	18,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	9,388,950株
	(自己株式 777,339株を含む)
株主数	577名

▶ 大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	855千株	9.92%
東洋電機従業員持株会	624千株	7.25%
東洋電機取引先持株会	555千株	6.44%
株式会社商工組合中央金庫	465千株	5.39%
株式会社百五銀行	428千株	4.97%
松尾隆徳	364千株	4.23%
松尾昇光	308千株	3.57%
トーヨーテクノ株式会社	289千株	3.36%
第一生命保険株式会社	250千株	2.90%
日本生命保険相互会社	250千株	2.90%

(注)持株比率については、自己株式(777,339株)を控除して算出しております。

▶ 株式分布状況



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	http://www.toyo-elec.co.jp/

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第77期中間配当金に関するお知らせ

第77期中間配当金は、平成27年11月5日開催の取締役会で1株につき6円と決議いたしました。なお、配当金の効力発生日ならびに支払開始日は、平成27年12月2日となります。

(注) 従来、株主の皆様へ「中間配当金支払に関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りすることによりご通知申し上げておりましたが、当中間期より同はがきの郵送を廃止し、当社ホームページにてご案内させていただくこととなりました。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

[当社ホームページ] <http://www.toyo-elec.co.jp/>

お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

